

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第1節 生涯にわたって学び続ける社会をつくる
主要な施策 I 市民の主体的な学習の推進 1 生涯学習活動の促進 2 生涯学習環境の充実

第5章第1節の3年間の事業費（単位：百万円）				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
金額	127	150	128	405

【目標への接近度を図る指標】

I 指標①	生涯学習事業への参加者数		
基準値(H26)	2,235人	目標値(H37)	2,500人
I 指標②	図書館を利用した市民の割合		
基準値(H26)	10.7%	目標値(H37)	15.0%

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I	市民の主体的な学習の推進	1 生涯学習活動の促進						
		市民生涯学習推進講座（家庭教育学級）	364	364	364	園児や児童を持つ保護者が、子育てに関する教養を深めることにより、家庭における教育力を高めることを目的とする。	幼稚園・小学校、保護者の連携による各学級の学習会のほか、講演会（全体学習会）、作品展を行う。	社会教育 G
		市民生涯学習推進講座（市民マイプラン講座）	150	150	150	市内の団体が自主的に行う学習会に対し、講師を派遣することにより、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	市民が自主的に企画し、複数人規模で行う学習等の活動に講師を派遣する。	社会教育 G
		市民生涯学習推進講座（登別ときめき大学）	375	375	375	社会、経済、自然、歴史、文化など多分野を学ぶことにより、それぞれの知識の充実を図るとともにまちづくりを担う人材を育成することを目的とする。	事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コースで、それぞれ講座を行う。	社会教育 G
		一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金	4,909	4,909	4,909	文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の実施する事業を支援することにより、文化振興及びスポーツ推進を図ることを目的とする。	文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に対して、文化・スポーツ活動へのきっかけとなる初心者向けの教室や芸術鑑賞事業、スポーツ大会などの実施に要する経費の一部を補助する。	社会教育 G
		一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金	11,739	11,739	11,739	文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営を支援することにより、質の高い文化やスポーツの場を提供することを目的とする。	一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に対して、その運営に要する経費を補助する。	社会教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		生涯学習の推進	—	—	—	市民一人ひとりが自ら学び、学習成果を活用して新たな学びを得ることにより、豊かな心と生きがいを持つことのできる生涯学習循環型社会の構築を目的とする。	市民の自発的かつ継続的な生涯学習活動を行うことができるよう発表の場を設けるとともに、情報の提供を行う。	社会教育 G
		2 生涯学習環境の充実						
		公民館運営管理経費	464	464	464	地域住民に交流・研修の場を提供することにより、生涯学習の環境の充実を図ることを目的とする。	登別公民館、登別温泉公民館の運営管理及び鷺別公民館も含めた各公民館の老朽箇所の補修や備品の整備を行う。	社会教育 G
		教育施設運営管理経費	63,562	63,562	63,562	市民が活発に文化・スポーツ活動を行うことができる環境を整えることにより、市民の健全な心身の育成を図ることとする。	指定管理者への委託により社会教育施設の運営管理を行う。 (対象施設：市民会館、鷺別公民館、総合体育館、陸上競技場)	社会教育 G
		婦人研修の家維持管理経費	1,337	1,337	1,337	婦人の生活文化や教養の向上を図ることにより、地域における婦人間の連携を深めることを目的とする。	指定管理者への委託により婦人研修の家の運営管理を行う。 【指定管理者の業務内容】 ・施設の使用許可に関すること ・施設の維持管理に関すること ・施設及び付属設備の清掃及び補修に関すること ・備品の管理に関すること 等	市民協働 G
		鷺別公民館整備事業	0	7,906	990	老朽化が進む鷺別公民館を計画的に整備することで、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心・快適な施設利用を図ることを目的とする。	日常点検の結果や利用者のニーズ、施設の老朽化等に対応するために改修等を実施する。	社会教育 G
		若草つどいセンター・富浦会館等運営管理経費	3,772	3,414	3,414	指定管理者による施設の管理運営により、地域住民の生活文化の振興と住民福祉の増進を図ることを目的とする。	指定管理者への委託により施設の運営管理を行う。 【指定管理者の業務内容】 ・施設の使用許可に関すること ・施設の維持管理に関すること ・施設及び付属設備の清掃及び補修に関すること ・備品の管理に関すること 等	市民協働 G
		登別温泉ふれあいセンター運営管理経費	9,860	9,860	9,860	市民の福祉の増進及び健康で文化的な地域社会の形成と発展を図ることを目的とする。	支所や図書館機能、情報コーナーのインフォメーション機能などを備えた、多目的な公共施設として設置した登別温泉ふれあいセンターの運営及び維持管理を行う。	市民サー ビスG

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		図書館運営管理事業	7,675	7,675	7,675	図書館資料の整備と読書推進事業の実施、配本所の機能強化に努めることにより、市民の教育文化の向上に寄与することを目的とする。	図書館資料の整備と市民の求める資料の提供に努めるとともに、全ての市民を対象にした読書推進事業を行う。	図書館
		移動図書館運行業務委託事業	5,095	5,095	5,095	市民が地域で図書館サービスを利用できる環境を整えることにより、市民の教育文化の向上を図ることを目的とする。	移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託する。 【契約期間（債務負担行為）】 平成28年度～平成29年度（2年間）	図書館
		図書・資料等購入費	9,085	9,085	9,085	図書館の蔵書を充実させるため、図書・資料等を収集・整理保存し、市民の利用に供することを目的とする。	市民の利用に供するための図書・資料等の購入を実施する。	図書館
		図書館ネットワークサービス 広域化事業	644	644	644	近隣市との図書館相互利用を可能にすることにより、市民が図書館を利用しやすい環境を整えることを目的とする。	定住自立圏の連携事業として、登別・室蘭・伊達の3市の図書館情報システムや図書資料等を一体で運用・利用する事業である。 利用者は1枚のカードで3市の図書館を利用することができ、図書の予約・貸出・返却等を近くの図書館で行えるなど利便性が向上するほか、図書館の広域利用と効率的な図書館運営ができる。	図書館
		ブックスタート・ライブラ リスタート事業	1,455	1,455	1,455	本にふれる機会を提供することにより、乳幼児の読書意欲の啓発と図書館の利用を促進することを目的とする。	毎月の健診時を利用し、乳幼児及びその保護者に図書の提供とブックリストの配布を行う。 ・ブックスタート対象者 4か月児とその保護者 ・ライブラリスタート対象者 3歳児とその保護者	図書館
		デジタル資料提供事業	636	636	636	アーンズ分館のIT機能を活用し、インターネットを活用したデジタル資料・データベースの提供を行う。 このことにより、近年書籍形態から電子媒体に移行しているレファレンス資料の動向に対応し、レファレンス機能の強化を目的とする。	・「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」と「歴史的音源」など国立国会図書館のデジタル資料の提供を行う。 ・「第一法規法情報総合データベース」、「ジャパンナレッジ Lib」、「北海道新聞記事データベース」などのオンラインデータベースの提供を行う。	図書館
		移動図書館車両更新事業	0	16,000	0	市民が各地域で図書館サービスを利用できる移動図書館車運行業務を実施するにあたり、車両の老朽化が著しいことから車両の更新を行うことを目的とする。	移動図書館車の車両の老朽化が著しいことから車両の更新を行う。	図書館

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		アーニス分館運営管理経費	5,319	5,319	5,319	図書館アーニス分館を運営することにより、図書等の充実、バリアフリー化、夜間及び祝日の開館による利便性の向上を図ることを目的とする。	図書館分館を運営し、高齢者を対象とした大活字本の充実、雑誌資料の拡充、インターネットを活用したデジタル資料・データベースの提供を行う。	図書館

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第2節 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
主要な施策 I 子供たちの生きる力を育む 1 確かな学力の向上 2 豊かな人間性の育成 3 たくましく生きるための健康や体力づくり II 地域に根ざした魅力ある学校づくり 1 特色ある教育活動の推進 2 開かれた学校づくりの推進 3 教育環境の充実 III 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり 1 地域との連携による青少年の健全育成

第5章第2節の3年間の事業費（単位：百万円）				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
金額	1,785	767	474	3,026

【目標への接近度を図る指標】

I 指標①	習熟度別指導実施校の割合	基準値(H27)	76.9%	目標値(H37)	80.0%
I 指標②	不登校児童生徒の割合	基準値(H27)	0.7%	目標値(H37)	0.5%
I 指標③	部活動加入生徒の割合	基準値(H27)	74.8%	目標値(H37)	80.0%
II 指標①	一斉学校公開日の来校者に占める地域住民の割合	基準値(H26)	7%	目標値(H37)	14%
II 指標②	学校支援地域本部におけるボランティア登録者数	基準値(H26)	43人	目標値(H37)	150人
III 指標①	児童生徒のボランティア活動、または地域活動に取り組んでいる学校の割合	基準値(H27)	84.6%	目標値(H37)	90.0%
III 指標②	青少年センターによる巡回回数	基準値(H26)	889回	目標値(H37)	900回
III 指標③	児童生徒の街頭指導件数	基準値(H26)	231件	目標値(H37)	150件

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I		子供たちの生きる力を育む						
		1 確かな学力の向上						
		教育課程の編成・実施・評価	—	—	—	子ども達の生きる力を育むための確かな学力の向上を目的とする。	子ども達の確かな学力の向上や豊かな人間性の育成、たくましく生きるための健康や体力づくりなどの「生きる力」を育む特色のある教育課程の編成・実施・評価を進め、思考力・判断力・表現力問題解決能力の育成に努める。	学校教育G
		校内研修の充実	—	—	—	子ども達の生きる力を育むための確かな学力の向上を目的とする。	研修資料の提示や研修内容の情報交換、指導主幹・胆振教育局指導主事等による学校訪問等を活用し、各学校の校内研修充実に努める。	学校教育G
		指導方法の工夫改善	—	—	—	子ども達の生きる力を育むための確かな学力の向上を目的とする。	各学校において個に応じた指導の充実に努め、指導方法工夫改善加配等を活用しながら、チームティーチング等指導方法の工夫に努める。	学校教育G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	2	豊かな人間性の育成						
		学校図書館司書配置事業	80	80	80	学校図書館司書を配置することにより、多様な読書活動の企画を行うなど、学校図書館の機能向上を目的とする。	学校図書館司書を小学校に4名配置し、児童が利用しやすい学校図書館を実現するための環境整備を図るとともに、児童の読書活動を推進するための活動として、書籍の陳列方法や内容紹介、図書室内のレイアウト変更等の環境整備等を行う。	学校教育 G
		要保護・準要保護就学援助費（小学校）	32,714	33,078	33,078	児童の保護者への経済的支援として就学に必要な学用品等の経費の一部を援助することにより、教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。	児童の保護者への経済的支援として、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助する。	学校教育 G
		要保護・準要保護就学援助費（中学校）	31,138	31,468	31,468	生徒の保護者への経済的支援として就学に必要な援助を行うことにより、教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。	生徒の保護者への経済的支援として、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助する。	学校教育 G
		体験活動等特色ある教育活動の充実	—	—	—	子どもたちの生きる力を育むための豊かな人間性の育成を目的とする。	学校教育全体を通して体験活動等を積極的に取り入れ、心の教育の充実に努める。	学校教育 G
		道徳授業の改善	—	—	—	子どもたちの生きる力を育むための豊かな人間性の育成を目的とする。	道徳の時間の全体計画、指導計画を作成し、指導案の検討など実践研究を進める。	学校教育 G
		読書活動の推進	—	—	—	子どもたちの生きる力を育むための豊かな人間性の育成を目的とする。	各学校の読書活動推進計画や学校図書館運営計画に基づき、読書活動の充実に努める。	学校教育 G
		不登校・いじめ対策経費	228	228	228	不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。	教育指導専門員による教育相談や教職員研修会の開催、保護者向けの広報紙による啓発等を実施する。 【事業内容】 教育指導専門員2名配置（月～金の9時～17時）、教育相談及びいじめ相談電話（随時受付）、校長会・教頭会の代表、各小・中学校教諭等と構成する「不登校・いじめ等対策会議」開催（2回）、教職員を対象とした研修会（2回）、「いじめ学習資料」の配布（各小・中学校に1回配布）、ふれあいサポート懇談会（2回）広報紙「手をつなぐ親と子」（1回発行）等	学校教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		スクールカウンセラー活動経費	78	78	78	児童生徒へのカウンセリング体制の充実を図ることにより、不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。	児童生徒へのカウンセリング体制の充実を図るため、臨床心理士を配置する。 【配置校及び日数】 西陵中学校、緑陽中学校、鷺別中学校各28日の3校を拠点校方式とし、必要に応じて市内各小・中学校のカウンセリングに対応する。	学校教育G
		心の教室相談員活動経費	178	178	178	生徒の悩み相談等に応じることで、不登校やいじめ等を未然に防止し、生徒が心にゆとりを持ちストレスをためることを防ぐ環境をつくることを目的とする。	生徒の悩み相談等に応じる心の教室相談員を市内各中学校へ配置する。	学校教育G
		スクールソーシャルワーカー活用事業	25	25	25	学校だけでは対応しきれない、不登校など生徒指導上の問題を抱える小・中学校において、課題解決に向けた校内体制の確立を図ることを目的とする。	教育委員会から小・中学校に必要なに応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣（2名）する。また、スクールソーシャルワーカーの役割と活用について、教職員への理解を深めてもらうため、スクールソーシャルワーカーが自ら講師となり、不登校事例をテーマとした教職員研修会を実施する。	学校教育G
3		たくましく生きるための健康や体づくり						
		児童生徒健康診断等経費	18,617	18,617	18,617	学校保健安全法に基づき、児童生徒の健康の保持増進及び心身の調和的発達を図ることを目的とする。	児童・生徒の健康状態の把握及び向上のため、健康診断やフッ化物洗口を実施する。また、学校の衛生環境を保全するため、水道水の水質調査等を行う環境衛生調査を実施する。	学校教育G
		学校医等表彰経費	103	80	80	長年にわたり本市市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師として、児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績を称えることを目的とする。	児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対し、その功績を称え表彰する。	学校教育G
		第44回北海道中学校柔道大会事業補助金	300	0	0	平成28年度において、北海道中学校柔道大会が登別市で開催されることから、当該大会の実施を支援することを目的とする。	開催地である登別市が、標記事業実施に係る費用の一部を補助する。 【大会概要】 開催日：平成28年7月30日（土）～7月31日（日） 会場：日本工学院北海道専門学校総合体育館 主催：北海道中学校体育連盟、北海道教育委員会、登別市教育委員会、（一社）北海道柔道連盟 主管：西胆振中学校体育連盟、登別柔道連盟	学校教育G
		中学校体育連盟助成金	1,400	1,400	1,400	スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的とする。	市内中学校の体育活動振興のために活動する中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を助成する。 【登別市中学校体育連盟の事業実施予定】 体育大会の開催（春季・秋季）、理事会及び専門委員会の開催（計2回）、西胆振及び胆振中体連大会への参加等	学校教育G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		子ども健康・体力改善事業	5,938	5,938	5,938	市内小学校にスポーツ指導員を派遣し、運動指導や教員の補助等を行うことにより、子どもたちの健康増進と運動能力の向上を図ることを目的とする。	派遣するスポーツ指導員が教員と連携を図り、運動の指導や教員の補助等を行う。また、健康維持、怪我からの回避といった指導を取り入れることにより、健康の大切さについて理解を深める。	社会教育 G
		栄養士・栄養教諭との連携	—	—	—	子どもたちの生きる力を育み、たくましく生きるための健康や体力づくりに資することを目的とする。	栄養教諭による「食に関する指導」「食育」の充実を図る。	学校教育 G
		学校給食センター改修工事	405	0	0	老朽化した施設・設備の補修を計画的に行い、施設及び設備の延命措置を図ることにより安全・安心で衛生的な給食の提供を行うことを目的とする。	平成20年度に作成した給食センター運営方針に則り、計画期間である平成30年度までの間、必要最低限の修理・修繕を実施することにより、施設設備の延命措置を図り、安全・安心で衛生的な給食の提供を行う。	給食センター
II 地域に根ざした魅力ある学校づくり								
1 特色ある教育活動の推進								
		外国青年招致事業	18,910	18,910	18,910	英語を使ったコミュニケーション能力の育成により、国際化社会で活躍することができる人材を育てることを目的とする。	小学校での外国語活動や中学校での英語指導を通じて、英語を使ったコミュニケーション能力育成のため、ネイティブスピーカーとして外国人英語指導助手（以下、ALT）を各学校に週1回以上派遣する。また、市民を対象とした英会話教室により国際交流の推進を図る。	学校教育 G
		学校図書システム広域化事業	252	252	252	「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として、学校図書システムを共同利用することにより、更新費用等の縮減とセキュリティの強化及び運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。	登別市と室蘭市で共同開発を行った学校図書システムを運用し、学校図書館の蔵書管理及び貸出管理を行う。	学校教育 G
		情報教育システム広域化事業	7,386	7,386	7,386	「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として教育情報センター機能を室蘭市に移転・集約し、システムの管理及び運用についての共同化を事業化することにより、運用・更新経費の縮減やセキュリティの強化及びシステム運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。	室蘭市、壮瞥町とともに共同開発した教育情報システムを活用し、WEB、メール、プロキシ、ファイル等のサーバを統合して教育系のネットワークを運用する。なお、サーバの管理及び運用は室蘭市で実施していることから、室蘭市にヘルプデスクを開設し、ITの専門知識を有する選任の嘱託員が、各小中学校からの照会や不具合対応に係る業務を行う。	学校教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		特色ある学校づくり推進経費	5,215	5,215	5,215	総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進し、地域の特性を活かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。	総合的な学習の時間や生活科等を通して、次のとおり各学校の特色ある学校づくりを推進する。 ・登別温泉地区の旅館やホテルで温泉入浴の体験を行い、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学を実施する。（各小学校3年生・8校） ・地域の自然や環境、人材を活用し講師講演（小学校3件）、野外体験学習（小学校）、職場体験学習（中学校）を実施する。 ・動物の飼育や学校菜園の実施（各小学校1・2年生を対象に花いっぱい運動の一年草を購入する。8校）	学校教育 G
		特別活動推進経費（小学校）	389	389	389	集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。	各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、学級活動（掃除当番等）、児童会活動（図書の出し出し当番等）、学校行事（遠足、宿泊行事等）、部活動等に必要な物品等を購入する。	学校教育 G
		特別活動推進経費（中学校）	3,220	3,220	3,220	集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。	各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、学級活動（進路についての情報収集等）、生徒会活動（ボランティア活動、学校行事への協力等）、学校行事（体育大会、宿泊行事等）、部活動等に必要なバスの借り上げや物品等の購入する。	学校教育 G
		自然体験学習推進経費	1,433	1,433	1,433	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。	ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行うために、児童・生徒の移動に必要なバスの借り上げを行う。 【対象学年等】 ・各小学校5年生（8校）、各中学校1年生（5校） 【内容】 ・自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習、周辺散策等	学校教育 G
		小中学校情報教育推進事業費	32,494	32,494	32,494	パソコン等の情報通信機器を小・中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することにより、情報化社会の中で、さまざまな情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。	パソコン等の情報通信機器を小・中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用する。	学校教育 G
		2 開かれた学校づくりの推進						
		コミュニティスクール活動支援事業費	1,165	1,165	1,165	各学校が保護者や地域住民等との信頼にしっかり応えながら、家庭や地域社会と連携協力して、地域全体として子どもたちの成長を支えていくことができるような学校づくりを推進することを目的とする。	従来の学校評議員制度を改め、学校運営協議会制度を導入し、学校運営方針への意見や承認・学校評価の手法改善・学校や地域の課題について熟議を重ねることで、学校・保護者・地域が一体となった、地域とともにある学校づくりを更に推進する。また、新たに地域の人材（退職教員等）を活用した放課後学習の取組を中学校で開始し、生徒の学力の向上・地域と学校の連携強化を推進する。	学校教育 G
		P T A 連合会助成金	300	300	300	研修活動や単位P T Aの連携協力等の事業を実施するP T A連合会を支援することにより、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的とする。	市内の小・中学校及び高校のP T Aで構成される登別市P T A連合会に対し助成金を交付する。	社会教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	3	教育環境の充実						
		小中学校校舎改修事業	45,124	17,558	46,733	児童生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	小・中学校の校舎の老朽化に伴い校舎等の改修を行う。大便器を和式から洋式に改修する。	総務 G (教育)
		教職員住宅整備事業	0	0	36,663	老朽化が激しい箇所を年次的に改修し、教職員住宅の環境改善を図ることを目的とする。	教職員住宅の屋根、外壁改修及び物置の改修等を行う。	総務 G (教育)
		小学校周辺整備事業	0	1,518	1,518	児童等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	学校敷地内の遊具の老朽化による取替及び、雨水排水、グラウンドの暗梁排水等の整備が必要であり順次準備を進める。	総務 G (教育)
		中学校周辺整備事業	0	7,727	0	生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	学校敷地内の遊具の老朽化による取替及び、雨水排水、グラウンドの暗梁排水等の整備が必要であり順次準備を進める。	総務 G (教育)
		鷺別小学校改築事業	1,430,118	383,000	0	老朽化した学校施設を改築することにより教育環境の改善、地域コミュニティの場として活用できるよう整備を図ることを目的とする。	鷺別小学校の校舎は耐力度調査により危険建物と判断され、屋内運動場については、Is値0.19で耐震補強が困難な建物であると判断された。この結果を踏まえ、校舎と屋内運動場の全面改築を行うとともに、既設建物の解体及びグラウンド等の屋外環境の整備を行う。	総務 G (教育)
		鷺別小学校建替事業費（学校備品等購入分）	32,265	3,000	0	鷺別小学校改築事業の実施に併せて、充実した教育環境を整備するため校舎内の備品等を購入し、同時に災害時の避難所としての機能の確保、地域コミュニティの場として活用するための環境整備を図ることを目的とする。	校舎改築の進度に合わせて、新校舎で必要となる備品等の整備を行う。なお、本事業において整備する備品等については、鷺別小学校改築事業において、建物の本工事及び付帯工事に含まない物品とする。	学校教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		児童生徒遠距離通学費補助金	2,400	2,400	2,400	遠隔地からバス通学する児童生徒の通学費を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。	正規の交通機関があり、これを利用して通学する地域から通学する児童及び生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助する。	学校教育G
		スクールバス・スクールタクシー運行事業	12,587	12,587	12,587	スクールタクシー・スクールバスを運行することにより、遠隔地から通学する児童生徒の負担及び保護者の経済的負担の軽減を図り、児童生徒の登下校の安全性を確保することを目的とする。	札内町及び来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ送迎するスクールタクシーを運行、カルルス地区、上登別地区、登別温泉地区及び中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行する。	学校教育G
		中学校耐震化改修事業	12,226	141,803	0	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする	耐震診断(2次診断)の結果を踏まえ、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物について、耐震補強や改築等により学校施設の耐震化を図ると共に、併せて施設の内外部の改修を実施する。	総務G(教育)
		小学校耐震化改修事業	76,145	22,705	199,627	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする	耐震診断(2次診断)の結果を踏まえ、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物について、耐震補強や改築等により学校施設の耐震化を図ると共に、併せて施設の内外部の改修を実施する。	総務G(教育)
		登別市特別支援教育振興協議会交流学習事業補助金	357	357	357	心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。	特別支援教育指導内容の研究及び実践を進めている登別市特別支援教育振興協議会が実施する交流学習事業に対し補助金を交付する。 【交流学習事業の内容】 自己紹介、公共施設の利用の仕方、自然体験、調理学習、ルール理解、公共交通機関の利用法、造形活動、食事指導等	学校教育G
		特別支援教育就学奨励費(小学校)	1,491	1,491	1,491	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	特別支援学級への就学に必要な経費の一部を援助する。	学校教育G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		特別支援教育就学奨励費（中学校）	1,330	1,330	1,330	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助する。	学校教育 G
		特別支援教育推進経費（小学校）	1,456	1,456	1,456	特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。	特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援として、学習に必要な備品及び物品を購入する。	学校教育 G
		特別支援教育推進経費（中学校）	840	840	840	特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。	特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援として、学習に必要な備品及び物品を購入する。	学校教育 G
		言語障害通級指導教室運営経費	179	179	300	言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。	言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行う。	学校教育 G
		登別市教育研究会運営事業費補助金	600	600	600	教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図り、市全体の教育レベルの向上を図ることを目的とする。	教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るために各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助する。 【教育研究会の活動予定】 ・会員は、事務、養護、進路指導、コンピュータ、特別支援教育、道徳、英語、保健体育、図工・美術、音楽、理科、算数・数学、社会、国語の全14部会のうちいずれかの研究部会に所属し、活動等を実施する。（研究部会の開催（計5回）） ・運営委員会の開催（計4回）	学校教育 G
		教育実践研究奨励事業	525	525	525	実践奨励校での教育実践研究を実施し、その成果を市内小・中学校で共有することにより、教育レベルの向上を図ることを目的とする	実践奨励校ごとに研究主題に沿った研究を行い、その成果として作成する研究紀要にかかる費用を負担する。 【実践奨励校の事業内容】 学校独自又は近隣校と共同で組織的、計画的に研究を実施。（研究の領域・分野は、学習指導、道徳教育、教育課程等17分野で事前に教育委員会から指定を受ける必要がある。）	学校教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
Ⅲ 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり								
1 地域との連携による青少年の健全育成								
		少年の主張大会	27	27	27	子どもたちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらい、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。	中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う少年の主張大会を開催する。	社会教育 G
		成人祭	378	378	378	新成人が大人としての自覚を持ち、意識の向上を図ることを目的とする。	市内に勤務する青年や専門学校生、高校生などで組織する登別市成人祭実行委員会と市の主催により成人祭を開催する。	社会教育 G
		子ども会活動振興助成金	830	830	830	子どもたちの「生きる力」と健全な心身の育成を図ることを目的とする。	子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。	社会教育 G
		登別市学校支援地域本部事業	3,041	3,414	3,414	地域で学校をサポートするシステムを構築し、地域教育力の向上を図ることを目的とする。	学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施する。 【事業内容】 ふれあい農園、土曜寺子屋、音楽を楽しむ会等	社会教育 G
		青少年育成指導経費	790	790	790	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築することにより、青少年の健全育成を図ることを目的とする。	青少年センターや青少年問題協議会を運営し、専任指導員や指導委員による巡回等を行う。	社会教育 G

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第3節 市民の個性ある文化活動と文化を育む	
主要な施策	
I	市民の文化・芸術活動の育成・支援
1	市民文化活動の活性化
2	文化活動を担う人づくり
II	文化の保存・継承
1	歴史の伝承と活用
2	アイヌ文化の振興と連携した取組

第5章第3節の3年間の事業費（単位：百万円）				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
金額	10	39	46	95

【目標への接近度を図る指標】

I 指標①	文化振興事業への参加者数	基準値(H26)	1,532人	目標値(H37)	2,500人
I 指標②	文化に関心がある市民の割合	基準値(H26)	46.9%	目標値(H37)	65.0%
II 指標①	歴史文化施設の入館者数	基準値(H26)	5,490人	目標値(H37)	6,000人
II 指標②	国、道及び市が指定・登録する文化財の数	基準値(H26)	7件	目標値(H37)	13件

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容		
			平成28年度	平成29年度	平成30年度				
I	市民の文化・芸術活動の育成・支援	1	市民文化活動の活性化						
		登別市文化振興助成金	800	800	800	地域に根ざした文化振興活動を行う文化団体を支援することにより、市民が文化に親しむことのできるまちづくりの推進を図ることを目的とする。	登別市における文化の振興と裾野拡大のために活動を行う登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。	社会教育 G	
		西いぶり定住自立圏文化事業負担金	1,000	1,000	1,000	市民がより質の高い文化に触れる機会を設けることにより、地域文化の振興を図ることを目的とする。	西いぶり定住自立圏（登別・室蘭・伊達・豊浦・牡警・洞爺湖）で実行委員会を組織し、3市の負担金により輪番で文化事業を行う。	社会教育 G	
		市民会館整備事業	0	26,734	34,092	市民会館の修繕を行うことにより、市民が安全・安心に文化活動を行うことのできる環境の整備を図ることを目的とする。	日常点検の結果や利用者のニーズ、施設の老朽化等に対応するために改修等を実施する。	社会教育 G	
		2	文化活動を担う人づくり						
		児童・生徒文化振興助成金	800	800	800	文化活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童等の文化活動の振興を図ることを目的とする。	市内の小・中学校、高等学校等に在籍する児童生徒及び市内に居住する児童・生徒が、文化活動で国際大会、全国大会及び全道大会に参加する場合に要する経費の一部を助成する。	社会教育 G	

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
II 文化の保存・継承								
1 歴史の伝承と活用								
		郷土資料館運営管理経費	2,212	2,253	2,253	郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。	郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行う。	社会教育 G
		文化伝承館運営管理経費	295	306	306	郷土の歴史や文化を伝承することにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。	文化伝承館を運営し、郷土資料館ボランティアグループSLGの協力を得ながら郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催する。	社会教育 G
		郷土資料館整備事業	0	0	●	郷土資料館の整備を行なうことにより、市民が安全・安心に見学することができるとともに、資料を適切に保管することができる環境の整備を図ることを目的とする。	日常点検の結果や施設の老朽化等に対応するため、郷土資料館の適切な整備を実施する。	社会教育 G
		のぼりべつ文化交流館整備事業	0	●	0	施設の改修を図ることにより、埋蔵文化財の展示・体験や絵画などの展示、及び集会施設として安全・安心に市民が利用できるよう、環境の整備を図ることを目的とする。	日常点検の結果や施設の老朽化等に対応するために改修等を実施する。	社会教育 G
		のぼりべつ文化交流館運営管理経費	3,268	3,335	2,884	埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動を推進することを目的とする。	市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、市民の作品展示などを行う。	社会教育 G
		市史編さん事業	396	1,972	2,572	郷土に関する有形無形の歴史資料を整理保存するとともに、先人の足跡を長く後世に継承する市史を刊行することにより、郷土・登別に対する市民の理解と関心を深め、今後のまちづくりに資することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・市史を平成32年8月に刊行する（平成30年度までの事業内容を記載）。 【平成28年度】 ・市史編さんの方針や、執筆した原稿の校正を行う市史編さん委員会を設置する。 ・嘱託員が市史編さんの原稿執筆に要する資料を収集する。 ・嘱託員が原稿の下書きをする。（分野により専門家がが必要な場合は適宜人選する。） 【平成29年度～平成30年度】 ・市史編さん委員会による原稿の校正 ・嘱託員等による原稿の執筆、修正 	総務 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		文化財保護経費	407	378	510	郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登録に対する理解を深め、大切にすることを目的とする。	市民に対し指定文化財の周知を図るほか、文化財に関する調査・研究や保護活動を実施するとともに、文化財の活用等を図る。 ・市内の文化財の保護、管理 ・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書） ・埋蔵文化財事前協議 ・歴史交流事業の実施 等	社会教育 G
	2	アイヌ文化の振興と連携した取組						
		アイヌ文化講座経費	280	280	280	市民にアイヌ文化を伝承し、アイヌ民族への理解・関心を深めてもらうことを目的とする。	市民を対象にアイヌ文化講座（刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成）を開催する。	社会福祉 G
		アイヌ民族文化祭補助金	30	30	30	アイヌ民族の尊厳の確立、文化の保存・伝承することを目的とする。	公益社団法人北海道アイヌ協会に対して、アイヌ民族の文化伝承等を目的に開催されるアイヌ民族文化祭の開催費用の一部を補助する。	社会福祉 G
		アイヌ文化普及啓発事業補助金	200	200	200	アイヌ民族の社会的地位向上、文化の保存・伝承することを目的とする。	アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う登録アイヌ協会に対して、運営費の一部を補助する。 【登録アイヌ協会の主な事業】 アイヌ民族の文化伝承活動に係る各種行事の啓発や文化実践講座等	社会福祉 G

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第4節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
主要な施策 I 生涯にわたるスポーツ振興の推進 1 スポーツ・レクリエーション活動の推進 2 健康・体力づくりの推進 3 競技スポーツの推進 4 施設整備の推進

第5章第4節の3年間の事業費（単位：百万円）				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
金額	110	111	112	333

【目標への接近度を図る指標】

I 指標①	月に1回以上スポーツ(ウォーキングを含む)をしている人の割合
基準値(H26)	53.5%
目標値(H37)	60.0%
I 指標②	体育施設(※)の利用者数
基準値(H26)	277,076人
目標値(H37)	278,000人

※総合体育館、市民プール、岡志別の森運動公園、陸上競技場、川上公園野球場、青少年会館、登山道(カムイヌプリ、米馬岳(カルルスコース))

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I	生涯にわたるスポーツ振興の推進	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進						
		登別こいのぼりマラソン開催補助金	600	0	0	登別こいのぼりマラソンの開催を支援し、親子のふれあい、子どもたちの健全育成、市民のスポーツ振興と健康増進を図るとともに、広く参加者を集め、市の観光振興を図ることを目的とする。	登別こいのぼりマラソン実行委員会に対して、大会開催に要する経費の一部を補助する。	社会教育 G
		登別市体育協会助成金	800	800	800	市民の健全なスポーツ活動の普及及び発展を図ることを目的とする。	スポーツ団体の育成、スポーツ振興と裾野拡大のために活動を行う登別市体育協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。	社会教育 G
		スポーツ推進委員会経費	446	525	525	スポーツ行事への参画や軽スポーツなどの普及活動を行うスポーツ推進委員会の活動を支援することにより、体育・スポーツの振興を図ることを目的とする。	スポーツ行事への参画や軽スポーツなどの普及活動を行うスポーツ推進委員の活動を支援する。また、スポーツに関する研修会等へ参加し、指導力の向上を目指すなど、委員の資質向上を図る。	社会教育 G
		2 健康・体力づくりの推進						
		生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成事業	147	202	202	生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図ることを目的とする。	生涯スポーツの推進と健康増進のため、市民ラジオ体操会や市民スポーツ・健康フェスティバル等のスポーツイベントを実施する。	社会教育 G
市民プール運営管理経費	61,867	64,263	64,271	プール施設を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。	指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行うほか、施設の維持に必要な点検や修繕等を実施する。	社会教育 G		

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		市民プールバスバック事業	30	30	30	市民が市民プールを利用しやすい環境を整えることを目的とする。	路線バス運賃と入館料を組み合わせ市民プールバスバックを販売する。	社会教育 G
		若山浄化センターパークゴルフ場維持管理経費	368	264	264	市民がパークゴルフに親しめる環境づくりを進めることで、生涯スポーツを推進し、市民の健康増進及び体力向上を図ることを目的とする。	地元町内会等の協力により、芝生や目土等のパークゴルフ場の維持管理を行う。	社会教育 G
3 競技スポーツの推進								
		登別市スポーツ少年団育成助成金	500	500	500	子どもたちのスポーツ振興を図る登別市スポーツ少年団本部を支援することにより、少年たちの体づくりやスポーツ技術の向上を図ることを目的とする。	子どもたちのスポーツ振興を図る登別市スポーツ少年団本部に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。	社会教育 G
		児童生徒スポーツ振興助成金	2,500	2,500	2,500	スポーツ活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童等のスポーツ活動の推進を図ることを目的とする。	市内の小・中学校、高等学校等に在籍する児童・生徒及び市内に居住する児童・生徒が、国際大会、全国大会及び全道大会に参加する場合に要する経費の一部を助成する。	社会教育 G
		2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業	1,250	1,250	1,250	2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図ることを目的とする。	オリンピック選手をはじめとした関係者を招へいし、講演会や実技指導などを実施する。	社会教育 G
		6市町スポーツ交流会	138	138	138	6市町（登別・室蘭・伊達・洞爺湖・豊浦・壮瞥）の小学生のスポーツ交流を推進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする。	西いぶり広域行政における青少年健全育成事業の一環として、3市（登別・室蘭・伊達）3町（豊浦・壮瞥・洞爺湖）の小学生を対象にスポーツ大会を実施する。	社会教育 G
4 施設整備の推進								
		青少年会館運営管理経費	10,614	12,828	12,828	レクリエーション活動等を推進することにより、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。	市内2箇所（中央・富岸）の青少年会館の運営管理を行う。	社会教育 G

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業目的	事業内容	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		陸上競技場整備事業	741	710	710	市営陸上競技場を安全・快適に使用できるよう整備することにより、市民のスポーツを行う環境を充実させ、スポーツの振興を図ることを目的とする。	市営陸上競技場のフィールド及びトラックの敷均し、転圧等の整備を委託により実施する。	社会教育 G
		岡志別の森運動公園等運営管理経費	14,223	13,646	13,646	岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。	指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）の運営管理を行う。	社会教育 G
		登山道維持管理経費	627	627	627	安全・安心な登山のため登山道を維持管理することにより、豊かな自然を利用した市民のスポーツ振興や健康増進を促進することを目的とする。	安全・安心な登山道の維持を図るため、登別山岳会などに委託し、登山道の草刈・笹刈りなどの整備を行う。 【実施予定登山道】 ・カムイヌプリ登山道（幌別ダムコース） ・来馬岳登山道（鉱山コース） ・来馬岳登山道（カルルスコース）	社会教育 G
		市民プール整備事業	5,752	7,405	12,722	市民プールの設備等を整備することにより、市民が安全・安心にプールを利用できるよう、施設環境の改善を図ることを目的とする。	日常点検や定期点検の結果などを踏まえ、設備等の大規模改修を実施する。	社会教育 G
		総合体育館維持管理経費	8,059	1,578	30	総合体育館の維持管理等を行うことにより、生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図ることを目的とする。	総合体育館の修繕や備品の整備を行う。	社会教育 G
		岡志別の森運動公園等整備事業	0	2,430	0	岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）の設備等について、利用者のニーズ、施設の老朽化等に対応した改修を行うことにより、利用者の安全・安心・快適な施設利用を図ることを目的とする。	日常点検の結果や利用者のニーズ、施設の老朽化等に対応するために改修等を実施する。	社会教育 G
		学校体育施設開放事業	342	342	342	学校の体育施設を開放することにより、地域におけるスポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくりの増進を図ることを目的とする。	スポーツ活動の普及及び振興を図るため、市内小・中学校等の体育施設を市民へ開放する。 利用団体による自主管理を行う。	社会教育 G